

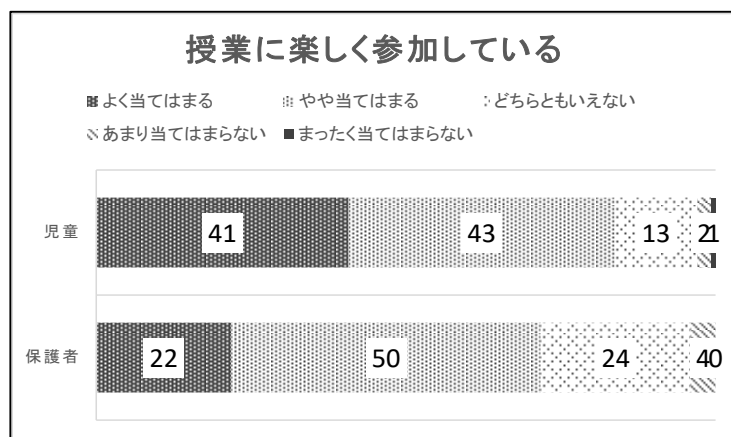
令和7年度 教育活動に関するアンケート結果（1学期）について

1学期の教育活動に関する調査（児童用、保護者用）の集計結果についてお知らせいたします。今回いただいた評価やご意見を基に、教育活動の改善を図り、子供たちの健全育成に努めてまいります。

【集計結果】

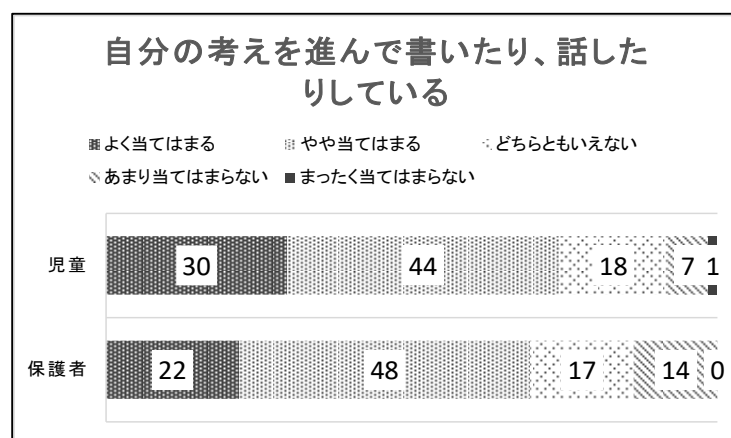
(I) アクションプランに関して

① 自分の考えを進んで表現する（達成目標：75%）



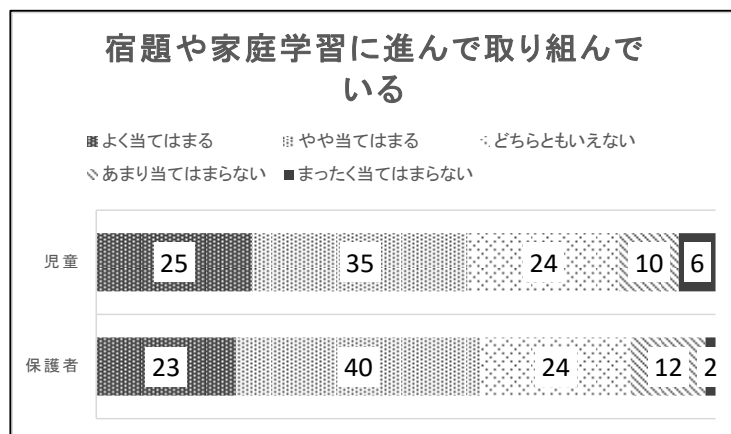
【結果と考察】

肯定的な回答は、児童で84%、保護者で72%であった。子供たちは、概ね楽しく学習に取り組んでいることが伺える。これからも、学ぶ楽しさが実感でき、「分かる・できる・分かり合える喜び」が味わえる授業づくりに取り組んでいきたい。



【結果と考察】

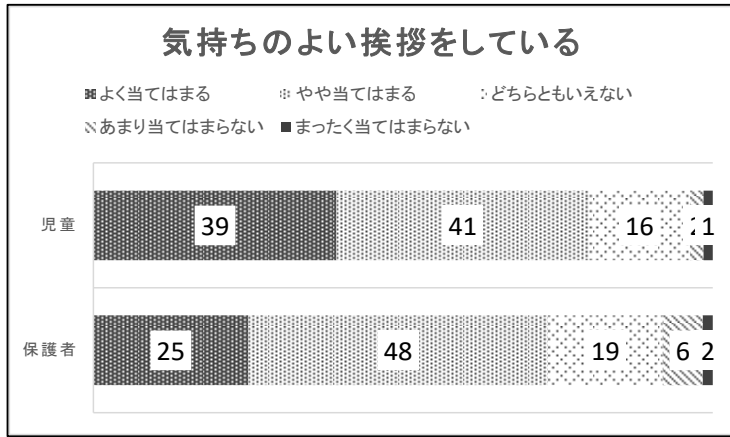
肯定的な回答は、児童で74%、保護者で70%となり、目標達成には至っていない。授業では、子供たちの興味・関心を高め、一人一人が学習活動の目的を理解し、自ら進んで学ぶことができるようにしていきたい。また、自分の考えをもち、考えを伝え合う楽しさが味わえるよう支援していきたい。



【結果と考察】

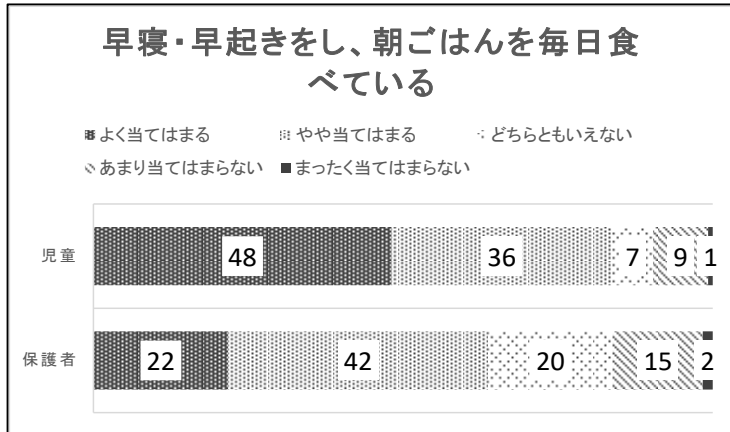
肯定的な回答が、児童で60%、保護者で63%であった。学校で学んだ内容を復習するだけでなく、授業中などに興味をもったことを調べる、発展的な内容に取り組むなど、内容に変化をもたせるようにしたい。「家庭学習でなにをすればいいかわからない」という児童のために自学ノートを授業参観で展示するなど、家庭との連携を大切にしながら、学ぶ楽しさを感じられるように支援していきたい。

② 自分から気持ちのよい挨拶をする（達成目標：85%）



【結果と考察】

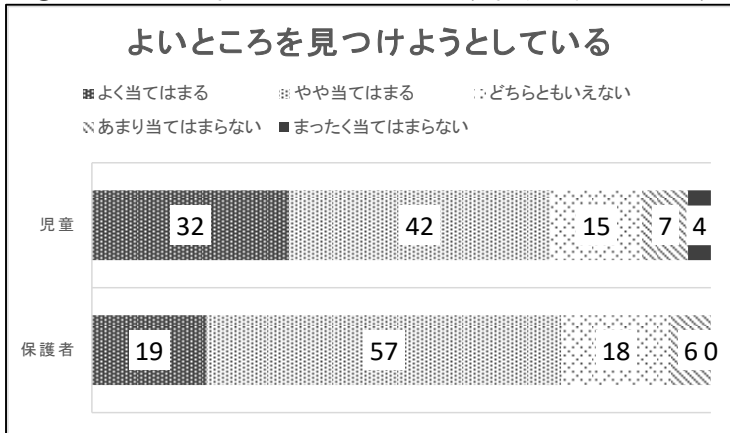
児童では80%、保護者では73%が肯定的な回答であった。自由記述では、あいさつの声が小さいというコメントが見られた。育友会での安全パトロール活動との連携、児童会活動での取組を中心に、身近な人に対して心をつなぐ気持ちのよい挨拶をしていこうとする意識と態度が育つようにしていきたい。



【結果と考察】

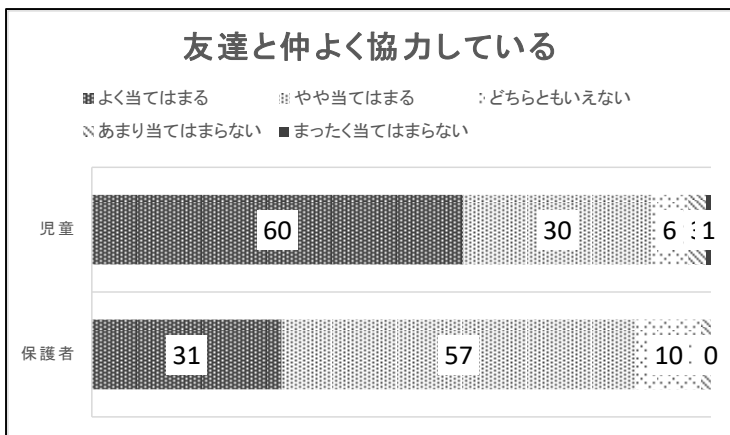
肯定的な回答が、児童は84%、保護者で64%と目標値を下回った。保健だよりなど、各種便りで情報を伝えるなど、今後も家庭と連携しながら取り組むことが大切だと考える。学校では、委員会活動の取組や学級活動等を通して、子供たちが、「早寝・早起き、朝ごはん」のよさを知り、実践につなげる方法を考える機会を設けていきたい。

③ 自分や友達のよさを見つける（達成目標：80%）



【結果と考察】

肯定的な回答が、児童74%、保護者76%と比較的高い割合であった。保護者の評価が児童を上回り、家庭ではよいところを積極的に伝えていることが分かる。学校においては、友達と関わる場や友達のよさを感じられる活動を取り入れ、肯定的に捉え、次につなげる振り返りの場を大切にしていきたい。

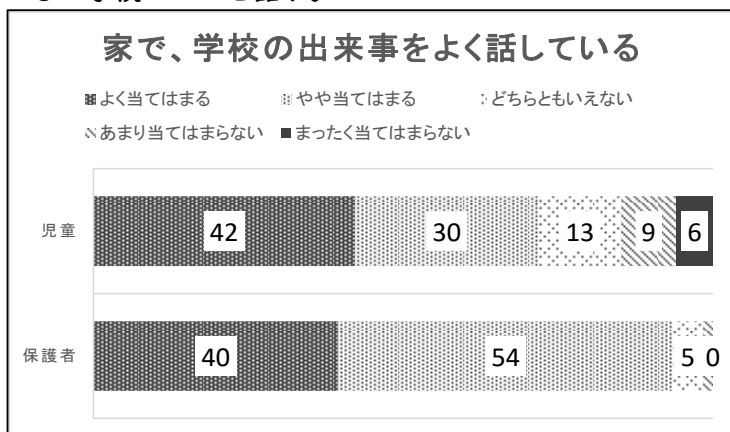


【結果と考察】

肯定的な回答が、児童90%、保護者88%と非常に高い数値を示した。教職員の実感とも一致しており、実態を表していると感じる。学校においては、友達と関わる場や友達のよさを感じられる活動を取り入れ、肯定的に捉え、次につなげる振り返りの場を大切にしていきたい。

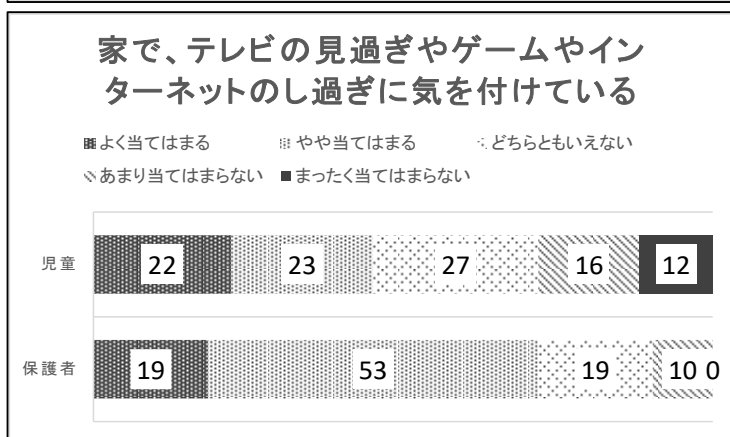
(2) その他の設問について

○ 学校のことを話す。



【結果と考察】

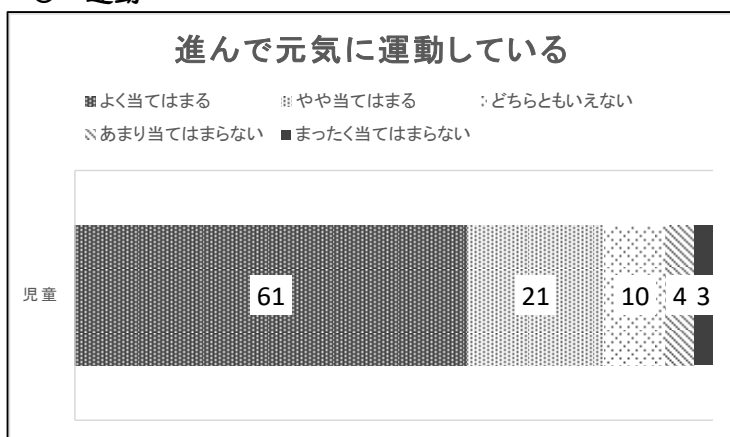
肯定的な回答が、児童72%で、保護者94%である。忙しい中でも保護者は、積極的に話を聞いていることが分かる。一方児童はもう少し聞いてほしい気持ちがあるのかもしれない。学校での楽しい出来事がさらに話せるよう、今後も「楽しい」を生み出し、つなげる学校づくりに努めていきたい。



【結果と考察】

肯定的な回答が、児童45%、保護者72%である。学校では、視力検査等の保健指導の機会や学級活動等を通して、児童と一緒に考える場を大切にする。また、学校保健委員会等を通じて、子供たち自身がよりよい生活習慣の定着を身に付けようとする意識が高められるようにしていきたい。

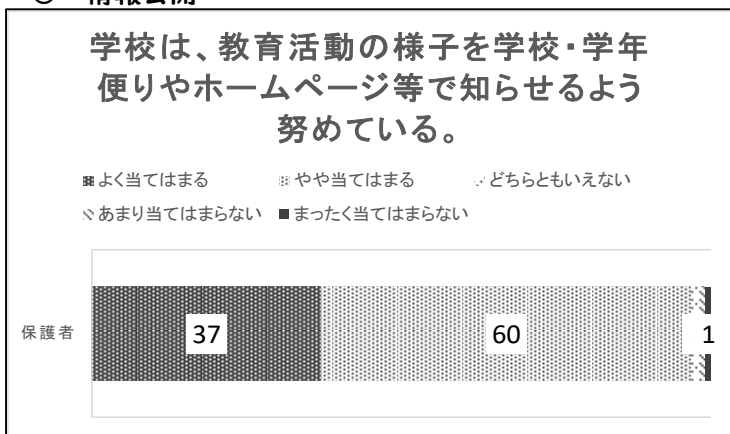
○ 運動



【結果と考察】

82%の児童が、元気に運動していると捉えている。体育科の学習を中心に、学級活動や縦割り遊び等を通して、安全に気を付けながら楽しく運動することの大切さを広めていきたい。

○ 情報公開



【結果と考察】

97%もの保護者が肯定的に回答している。今後も教育活動の様子を、さらに分かりやすく伝えられるよう努めていきたい。